

# 上段の丘



一関市立川崎中学校 学校だより  
令和7年7月11日 第15号  
文責 校長 斎藤 真

## 川中生の良さをご披露！総合訪問

7月3日（木）に、県南教育事務所や一関市教育委員会からたくさんのお客様が川崎中学校を訪れる「総合訪問」というイベントがありました。約30名のお客様がいらっしゃって、川中生の授業の様子をご覧になられたり、校舎を見学されたりしました。授業後には、清掃の様子や帰りの短学活も見ておられました。今回の訪問にいらっしゃった方々から、たくさんの感想をいただきましたので、まとめてみました。皆さんの頑張りがこんな風に評価され、嬉しい限りです。

- 急にこんなにたくさんの人が訪問して驚いたんだろうけれど、生徒は自然体で、とても笑顔が素晴らしいかった。お互いに仲が良い様子が空気から伝わってきた。生徒同士の会話のやり取りを聞いていると、さりげない「ありがとう」をたくさん聞くことができた。「ありがとう」をさりげなく言えるということが素晴らしい。
- 教室の環境が整っていて整然としていた。生き生きしていて、挨拶もいい。授業に対しての構えがよく、分かろうとする姿勢があった。全校生徒から「ぬくもりとひたむきさ」を感じて、とても良かった。
- 10分間の清掃活動、短い時間でも心掛けが素晴らしい、キビキビと掃除に取り組んでいた。帰りの短学活では手帳に今日のことやこれからることをじっくり考えて記入する時間があって、静かでとてもいい時間だと感じた。
- 川中のキーワードは、「時間」「挨拶」「整理整頓」だと感じた。この3つがとても印象に残った。
- 清掃はとても立派で、今日だけ頑張る「とってつけた」ようなものではなく、普段からの一生懸命さを感じた。
- 各学級とも雰囲気が良かったです。学びに向かう姿勢も素晴らしい。最後まで集中していたし、自分なりの考えを真剣にまとめようとする姿がありました。相手の考えを聞きながら交流する姿勢も良かったですね。
- 1年生、授業に真剣に取り組んでいる様子から、「中学生になってまだ3ヶ月しか経っていないのに、しっかり中学生らしくなっていてすごい」と思いました。これからも頑張ってください。
- 短い時間を無駄にしないよう清掃に取り組んでいました。誰一人私語がなくてびっくりしました。校舎が、学校がこれだけきれいな理由が分かりました。
- 日々の生徒の皆さんとの取組の継続や、先生方のご指導の積み重ねが感じられました。どのクラスもよく考え、よく発言していました。何より、お互いの発言、先生の説明をしっかりと聞く耳を持っているなと思いました。素晴らしい、川中生！
- 先生と生徒、生徒同士の対話的活動が普段から為されているのだと感じました。関係が温かいですね。



## 全力を尽くした 県通信陸上競技大会

7月5日（土）、6日（日）に、県の通信陸上大会が開催されました。本校からは、地区大会を勝ち抜いた1年生の小野鈴夏さん（四種競技）と3年生の高橋浬さん（共通400m）が参加しました。各地区の代表と競り合いながら、持てる力を出し切りました。

大変暑い中でしたが、集中して競技に向かう姿がとても素晴らしいです。たくさんの感動をありがとうございました！

